⟨東北全体トピック⟩

○オジロワシやメダカなどの貴重種を多数確認！（資料 P5～P8参照）

77種の絶滅危惧種に該当する貴重種が確認され、東北の水辺では貴重な生物にとって良好な生息･生育の場となっているといえます。

オジロワシ（鳴瀬川）



写真：国土交通省　湯沢河川国道事務所
※写真は平成13年度調査で撮影されたものです。

メダカ（高瀬川）



写真：
国土交通省　高瀬川河川事務所

○東北の水辺では、外来生物の生息域が拡大！（資料 P9～P13参照）

魚類ではブルーギルやオオクチバスが、陸上昆虫ではブタクサハムシが近年急速に生息域を拡大しており、在来種への影響が懸念されます。

阿武隈川にて発見された
小型（10cm程度）のコクチバス



写真：国土交通省
福島河川国道事務所

急速に生息域が拡大している
ブタクサハムシ



写真：　国土交通省
北上川ダム統合管理事務所

○特定外来生物として指定された植物　3種を確認！

（資料 P9～P13参照）

東北の水辺で確認されたアレチウリ、オオキンケイギク、オオハンゴンソウは、いずれも繁殖力が旺盛で、在来の生態系に被害を及ぼすおそれがあり、平成18年2月1日に特定外来生物として指定されました。



アレチウリ



オオキンケイギク



オオハンゴンソウ

写真：（財）リバーフロント整備センター「川の自然をみつめてみよう②～河川の外来種図鑑～」より